平和かわら版【平和新聞茨城版】 No.978 2023 8. 5
発行 茨城県平和委員会 https://ibaheiwa.web.fc2.com/
〒310-0912水戸市見川5-127-281 Tel/Fax 029-251-2806
E-mail：i-peace877@silk.plala.or.jp

平和新聞 2023/8/5 2328号（毎月5,15,25日発行）
1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部160円 月額470円 郵便料月額126円
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館 Tel/03-3451-6377

別刷り

第9回

学習企画

「軍事国家への道を許さない」

海上自衛隊の実力

海上自衛隊の実力はおそらく世界第２位というところだと考えられます。それは、下表にある護衛艦の数だけではなく、その性能や隊員の訓練度合いおよび整備技術が関係しています。また、あまり知られていませんが、海上保安庁は実は世界的には軍隊に数えられています。実際アメリカ空母のキティーホークが横須賀基地から出港し浦賀水道までは海上保安庁の巡視船が護衛をしたということもあるんです。（ちなみに浦賀水道沖から先は、海上自衛隊がアメリカ空母のキティーホークを護衛しました。）

海上自衛隊	
隊員	4万5千人
護衛艦	４８隻
ヘリ空母	4隻
イージス艦	8隻
掃海関係艦艇	２２隻
ミサイル艇	6隻
輸送艦・艇	１１隻
潜水艦	２２隻
哨戒機	１３０機
ヘリコピター	２９０機
救難機	7機
電子戦機	１３機

海上保安庁	
隊員	1万4千人
巡視船	１４４隻
巡視艇	２３８隻
注）上記には４０ミリ機関砲や３０ミリ機関砲を搭載している	
救難艇	５０隻
固定翼機	３６機
ヘリコプター	５５機

▲（自衛隊装備一覧および海上保安庁装備一覧より主なもののみ抽出）

海上自衛隊の実力をもっと詳しく見てみます。まず、ハイテクの艦船であるイージス艦を保有しています。また、潜水艦は、通常動力艦として静粛性（とても静かで見つかりにくいということです）・潜水艦への攻撃性は世界トップレベルのものがあります。また、機雷を除去する掃海部隊は文字通り世界トップです。さらに、上記表の哨戒機ですが、単に哨戒＝見張りをするだけではなく、翼の下に最大８発の対潜魚雷や爆雷・対艦ミサイルも搭載していますので、れっきとした爆撃機でもあります。実は海上自衛隊は、前日本帝国軍の歴史をもっとも受け継いでいると言われています。１５年戦争の経験を基本的に受け継ぎ、訓練の度合いも非常に高いものがありますし、考え方も日本帝国軍の考え方が色濃く残っているのが海上自衛隊なのです。

▲護衛艦（出典：Wikipedia）

安保３文書における軍拡について

さて、前号までで日本への差し迫った軍事的な脅威はないということと、自衛隊の実力は現在でも非常に強力であることを記してきました。それを踏まえて、昨年１２月１６日に閣議決定された「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」（以下「安保３文書」と記します。）によってどのように自衛隊が変わっていくのか?そして茨城県内の自衛隊基地等がどう変わっていくのかに入っていきたいと思います。

安保３文書の軍事的特徴は主に４点あります。一つ目は、ミサイルの長射程化です。２つ目は統合防空ミサイル防衛の深化です。３つ目は基地の抗たん化です。４つ目は軍事国家体制つくりです。下表は特徴的なものを表にしたものです。

分類	配備	能力向上・（他国より購入・研究開発）
ミサイル	高速滑空弾	１２式対艦誘導ミサイル
		巡航ミサイル「トマホーク」（他国より購入）
		高速滑空弾（能力向上型）と極超音速ミサイル（研究開発）
自衛隊機	F-35	F-15
	空中給油機	電子戦部隊
	早期警戒機	
自衛艦	護衛艦	ミサイル発射型潜水艦
	イージス艦	
設備	弾薬・試験場	基地の地下化

▲防衛力整備計画より作成

ミサイルの長射程化の歴史について

それでは、安保３文書の軍事的特徴の「ミサイルの長射程化」と「統合防空ミサイル防衛」の２つの説明に入っていきます。まずは、「ミサイルの長射程化」というものです。この説明という点では、このミサイルを開発する目的には、核兵器開発とその運搬手段（主に大陸間弾道弾）とが大きく関係していますので、まずそこから述べていきます。１９４５年８月６日に世界で最初に核爆弾が使用されました。その後大陸間弾道弾の開発が進み、アメリカ本土からソ連（現ロシア）に直接発射できるロケットが１９５９年にアトラスという名で誕生しました。ソ連も１９６０年にＲ－７というアメリカに直接届くミサイルを誕生させました。この頃のミサイルのＣＥＰ（半数命中率＝発射したミサイルの半分がその半円の中に到達するというもの）は、３．５ｋｍ程度のものであり、相手国のミサイル発射施設などの標的を破壊するためには、爆発力を大きくしなければならないというものでした。これによりメガトン級の核兵器が誕生してきたわけです。（国吉）

▲トリニティー実験での核爆発
（出典：Wikipedia）